

2024年度を振り返り、2025年度を展望して

下記の3点に集約してお話いたします。

1. ねりまシニアネットワーク (NSN) 活性化

活性化のひとつとして、同期会の枠を超えた新しいネットワークを構築します。手始めとして「一人ではなく、みんなと何をやりたいか」のアンケートを行い、会員が何を期待しているかを調べ、次にその個別イベントごとに集計しました。一連の作業の中で、同期会での活動だけで十分という意見があることも分かりました。集計結果をもとに2025年度は具体的なネットワークづくり（どんなイベントを、どのようにやるか）を実施する考えです。

2. コロナの影響を受けた作業部会の委員

NSNにはセミナー委員会、NSN フェスティバル委員会等の作業部会があります。それらの委員は比較的新しい同期会から選ばれた方々で構成されています。2020年度・2021年度はコロナの影響で新しい同期会の設立は有りませんでした。この結果、新しい委員が選任されずにきま

したが、2025年度からは順調に選任されていくことを期待しています。

3. 2025年度の役員

新会則では NSN の役員の任期は1年です。2025年4月の総会で役員の改選を行い、新しい会からも役員が選任される予定です。これから順調に新役員が選任されて、NSN がより開かれた団体になることを期待しています。

NSN 会長 大貫雅弘

【会員向け専用サイトの開設】

ねりまシニアセミナー案内が主目的の既存のサイトとは別に、会員向けのサイトをつくりました。会報/NSN、掲載されたシリーズもの（NSNの歴史等）をご覧ください。NSNの記録としてご活用ください。

ユーザー名（ログインID）：nsn

パスワード：member

ホームページ担当 土田



会報/NSN 編集委員会の振り返りと これから

～より身近に思ってもらえる会報に～

会報/NSNは、2005年に創刊し、モノクロ・四面・横書きの体裁でスタート、2012年に縦書き、2016年より一部カラー化、2021年第92号よりカラー・二面構成、2023年に横書きとなって現在に到ります。

会報の役割は、ねりまシニアネットワークの動きと、他の同期会の活動紹介と考えています。そのため、シリーズ物として「同期会紹介」をはじめ6シリーズを掲載してきました。会員一人ひとりの想いを綴る「会員のひろば」が最も長く、他には「NSNの歴史」「研究会報告」「地域で活動する会員たち」「作業部会紹介」があります。

編集委員会は、地味な作業であり、編集の経験者が少ないので、委員会の場で勉強し合いながら、試行錯誤で現在4名、毎月の編集委員会を経て偶数月に発行しております。

読者ニーズに極力近づけるため、近ごろの

新しい取り組みとして、年間を通しての紙面づくりを行っています。これは ①年間での紙面構成一定化 ②出されたアイデアの漏れ対策 ③提案から記事にするまでのプロセスの見える化 ④各同期会へ余裕を持った原稿依頼等を考えたものです。

会報はすべての会員の方に読んで頂きたいので、印刷物配布を原則としています。これからも読者のニーズを定期的に把握し、「より身近に思ってもらえる会報」作りに心がけていきます。

そのためには、みなさまの感想やどのような記事を要望されるのかをお伺いしつつ、さらなるご協力をお願いいたします。

会報/NSN編集委員会



＜縄文世界へのお誘い＞

2021 年北海道・北東北の縄文遺跡群がユネスコの世界文化遺産に登録されて以来、ちょっとした古代史ブームがおこっています。博物館では埴輪や土器の企画展が開催されています。

日本列島に人が住み始めたのは今から 3 万年前です。縄文時代は 1 万 3 千年くらい前から 2 千 5 百年くらい前まで約 1 万年ほど続いたといわれています。最盛期は中期の 5 千年前です。広場には環状集落が生まれ、集団墓地が作られ、土偶による祭祀が盛んに行われるようになりました。

縄文といえば、網目模様の土器です。土器の出現により、人々の食生活は豊かになり、各地でさまざまな土器が作られるようになりました。練馬区近くでは西東京市東伏見の下野谷（したのや）遺跡が国の史跡となっています。出土物は西東京市郷土資料室にあります。

多摩にある東京都埋蔵文化財センターでは、都内で発掘された各時代の遺物を見ることができます。一般向けに土器作りの講習も行われています。私はここで土器作りを体験した後、自分でも作るようになりました。粘土を紐状にして、輪積みという方法で積み上げ、成形をしていき

ます。乾燥を経た後、800 度くらいで野焼きをします。この後“みがき”という作業があります。土器の内側を鹿皮・石・貝などで丹念に磨き、水漏れを防ぎます。

縄文土器は岡本太郎等によって考古学的資料から美術的な価値が見いだされ、美術愛好家からも注目されるようになりました。私は自作の土器類を、本来風雨にさらしてはいけませんが、庭先に置いています。土器作りを通して縄文人の知恵と技の素晴らしさに心うたれます。

縄文生活を知るには、遺跡や各都道府県の埋蔵文化財センターや考古学博物館に行くのが一番です。渋谷の国学院大学博物館もお奨めです。平凡社の「縄文美術館」「土偶美術館」も楽しい写真集です。縄文世界を満喫してください。

にこにこネット 小熊啓子



自作の縄文土器・土偶

【投稿】 新しいこと、と一緒に始めませんか

活性化委員会のアンケートをきっかけに、“大人の遊び場”を毎月開催するようになりました。それ以前に“花合わせの会”（花札）を開いていましたが、部屋の空いている部分が多く、勿体ないと思っていたので、沢山の遊びを用意したものです。

そこで“オセロ”で参加して頂いた「にこにこネット」の川村さんとお付き合いがで、 “花合わせの会”の日にもオセロを開催して頂くことになりました。

その日は今のところ、花合わせとオセロだけです。将来的には物づくりグループなどの参加も可能ではないでしょうか。ブルーシートを敷けば彫刻や小さな木工作品作りも可能かと思われま。す。（掃除機等は私が用意します）

女性の方々は多趣味で、小物づくりなどを行っていらっしゃる方が沢山おられると思います。しかし場所取りなどが面倒で、二の足を踏んでいらっしゃるのではないかと思いますので、是非空いているスペースを活用して頂きたいと思います。

1 回目の“大人の遊び場”では、我々の会の女性が、さわやか 17 の阿部さんに麻雀のメ

ンバーとして誘われていました。また、にこにこネットさんからは、私達の主催する“ナンプレ”に参加して頂いております。

このように、NSN 会員が知り合うことが増え、小さな輪がどんどん広がっていけば良いな、と楽しみにしています。知り合う場としての“大人の遊び場”や“花合わせの会”の会場を活用して頂き、ご自分の行いたいことをどんどん広めていったら如何でしょうか。

【今後の開催予定】 大人の遊び場 10 時～16 時
4 月 30 日（水）、5 月 14 日（水）・21 日（水）

四季会 桑原 義和

“大人の遊び場”
の会場



【第 31 回ねりまシニアセミナーのお知らせ】

日時：6 月 1 日（日）13：00～

場所：ココネリホール

講師：南野和治氏（NPO シニア大楽）